

放課後等デイサービス 事業所における自己評価表(公表)

公表:令和5年2月1日(水)

事業所名:あすなろクラブ

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			
	2 職員の配置数は適切であるか	2		少人数体制を生かし、顔の見える支援を行っている。児童発達支援職員との連携の中で、現場配置を行っている。	少人数体制であること、コロナ禍であることを理由に、行えていないチャレンジがあるが、あすなろだからできることも大切に考え、現場の組み立てを行っていく。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3		立場ごと、意見が出しやすい環境整備に努めている。	職員全体での集合が難しい。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3			保護者との日々のコミュニケーションを大切に考え、情報や困り事、苦情も含め、拾い集める努力を継続的に行っていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2			
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2			同一の時間共有が難しいが、改めて期間や回数を見直し、積極的に行う必要がある。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2		コロナ禍で学校に登校できたりできなかったり、不安要素が多い中、曜日固定利用の児童が安心して参加できるよう、基本は固定の活動を行っている。	コロナ禍に配慮をしながらはなるが、長期休み中などに平日放課後ではできないチャレンジ要素を活動に盛り込むようにしている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		気づきを都度声に出し、即共有を心掛けている。支援日誌への落とし込みを支援前に確認。その日の支援について、現場職員が事前(支援開始1時間前)に情報共有するための時間を取っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3		日々の振り返り、外部からの情報なども含め、月の職員会にて議題としてあげている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4				

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	都度、必要に応じ連携への努力は行っている。現在、医療ケアが必要なお子さんのご利用はない。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5			
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3			コロナ禍で、繋がりが希薄になっている。Zoom会議等への積極的参加を心掛けたい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4		コロナ禍で実現が遠のいたままになっている。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2			事業全体から代表者が関わらせていただいている。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1		様々な立場、視点で支えていきたい。が、イニシアチブはどこが握るべきなのか、保護者が迷わない構図で支えていきたい。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	定期的に母茶会を開催している。	コロナ禍での積極的開催が難しく、回数が激減している。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			
	35 個人情報に十分注意しているか	6			
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3		コロナ禍ということもあり、事業全体として以前の様な交流が難しくなっている。
38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3			建物全体として定期的な避難訓練は行っている。保護者への報告等を丁寧に行っていく必要がある。	
39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3			防犯への意識も高めた訓練も行っていきたい。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4			
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		定めた書式での即時(即日)報告と振り返り、反省を全体共有できるようにしている。	